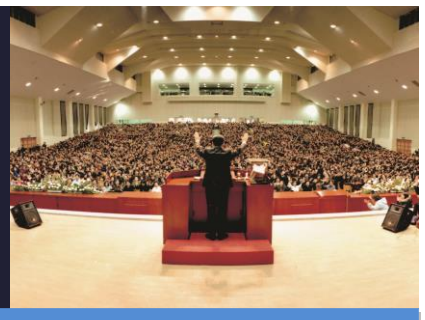
第 2019-04 号

恵みと真理のニュース



2019 年 01 月の四次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

神様はわたしの病気を治療してくださり、愛する家族を救ってくださいました

私が幼い頃、母が心臓弁膜症によって苦労して急に脳卒中で倒れました。死境をさ迷いながら三週間ぶりに起きた母は体を動けなくなりめまいが酷くなって退院した後もしばらく間、どこにつきました。そんな母に周りの教会に通っている方が福音を伝えました。

そのように何ヶ月が経ってからある日に、母がヘンな夢を見たと私に話をしてくださいました。牧師が片手は聖書を持ってもう一つの片手では私の頭に手を置いて按主祈りをして祝福しる夢を見たとしました。当時、母は仏教信者でした。母は何日が過ぎてから教会に行きたいと言われました。

主日、私は母を連れて近くにある教会に行きました。慣れなくて緊張する心で初めて礼拝に参席しました。説教を聴いた後、聖徒たちが歌う賛美を聞き涙が出ました。礼拝が終わるまで涙を流しました。その後、母と共に礼拝に休まずに参席しました。ますます病気が良くなり一人でも教会に行けるように回復されました。私もその間、信仰が成長して青年部を仕え教会学校で教師として奉仕するようになりました。誠実に職分を担って楽しく奉仕しました。

幾年も過ぎて結婚してアンヤンで新婚生活をはじめました。続けてソウルで教会に行くのが大変で家から近い教会を探している中で恵と真理教会の首区域長が福音ニュースを持って私の家によく訪ねてきました。もらった福音ニュースを読みながら当会長の牧師の説教と聖徒達の証を通して多く恵を受けました。首区域長の助けられて恵と真理教会で新しい心で信仰生活をするようになりました。

結婚してしばらく間、妊娠ができなくて病院に行ってみたら卵胞が育たなくて受精ができないと言われました。そんな私に首区域長は聖歌隊で奉仕をするように勧めました。そうしながら切に神様に祈るとみごもる福を与えて下さると信仰を引き立ててくださいました。首区域長の言葉の通り熱心に祈りをして聖歌隊で奉仕をして６ヶ月ぶりに神様がみごもる福を与えてくださいました。神様の恵みに感謝を捧げて区域長の職分と児童区域長の職分を受けて献身しました。熱心に区域聖徒を仕えて土曜日は児童区域礼拝も捧げて楽しく生活をしました。幼い娘も母を助けるといい友達を伝道しました。そうしながら、区域の聖徒たちが一人二人、引越しをしてまた、職場に行くなど各自の事情で一人で区域礼拝を捧げる時が多くなりました。とても心が痛くてむなしくなる時、アンサンに引っ越しました。引っ越しながら新しい覚悟で熱心に信仰生活をしようと心を尽くしました。しかし、その決心はむしろ礼拝を休むようになりました。そして、娘が通う学校の親達と交際しながら信仰生活は疎かになりました。区域職分が負担になりました。罪責感があって回復したい心もありましたが、なかなかできませんでした。教区伝道士と勧士、区域長達の関心と愛を持って私を仕えてくださったが、私は負担に思いました。更年期の症状があってあちこちからだが痛かったです。

ある日、左側の耳からみず膿が出て病院に行ったら外耳道炎だと言いながら、治療するとすぐ治るとしました。しかし、一ヶ月後に、再発して治療を受けるその時だけで、状態がもっと悪くなりました。反対の耳でも同じ症状が発生しました。耳にはみず膿で満ちてあまりよく聞こえませんでした。頭はぼうとして、精神はぼけて、鼻は感覚が鈍くなり息苦しくなり言葉では表現できないほど苦しかったです。大きい病院に行ったら耳の穴から鼓膜につながる外耳道の入り口が狭くなり、風通しがきかず、じめじめしてかび菌ができるので、手術しなければならないとしました。しかし、一年を待たなければ手術できるといいながら耳を洗う食塩水のみ処方してくれました。夜になると不安と恐怖心がひどくなって眠れませんでした。あまりにも苦痛で死にたいと思いました。“神様、私が罪を犯しました。私を助けてください。”と神様に叫びながら祈りました。主日になって参席した朝８時に礼拝で当会長の牧師がヨハネの手紙三２節の御言葉で“癒しを信じて求めなさいと。という題目で説教してくださいました。牧師は病気が治るのを願いながら祈るのは神様の御旨で主が命令したので疑う理由がないと強調しながら、病気になった者は癒されるように祈りなさい。と話しました。また、“ 信仰に基づく祈りは、病人を救い、主がその人を起き上がらせてくださいます。”という御言葉を信じて感謝する心で喜び心で祈るべきだとしました。説教を聴くときわたしの涙では涙がとまらなかったです。心が平安になり、治療に対する希望ができました。その次の主日も“癒しのため祈る七つの理由”の対目で話してくださいました。私に下さる御言葉である。と考え神様に感謝しました。

礼拝を捧げて帰ってくるある日、食事用意をしながらも口ずさみながら賛美するほど心が平安で嬉しかったです。ある日は今朝、イザヤ書４１章１０節の御言葉が主の声で聞こえて起きました。 “恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け／わたしの救いの右の手であなたを支える。”その瞬間わたしは聖霊が私と共にしてくださるのを感じて病気が治ると確信しました。

その時、以後、礼拝に参席して当会長の牧師が癒しの祈りをしてくださる時ことに少しずつ良くなり健康になるのを感じました。そして、一ヶ月に一回づつ病院に行って耳の状態を見ますが、行くたびに医者から良くなったと話を聞きます。手術を受けたくなくて手術計画も取り消しました。今は病気の症状がもうなくなるほど状態がとても良くなりました。.

そして、家族の救いのため、今まで切に神様に祈ったが、旦那と娘が主日の礼拝に参席始めました。私の病気が癒されるより喜ぶことで感謝することです。わたしの病気を治療してくださった神様の恵みに限りなく感謝を捧げます。わたしの家族を救ってくださる神様を声高く賛美捧げます。

わたしの魂よ、主をたたえよ。わたしの内にあるものはこぞって／聖なる御名をたたえよ。 わたしの魂よ、主をたたえよ。主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。 主はお前の罪をことごとく赦し／病をすべて癒し 命を墓から贖い出してくださる。慈しみと憐れみの冠を授け 長らえる限り良いものに満ち足らせ／鷲のような若さを新たにしてくださる。（詩篇１０３：１～５）アーメンハレルヤ！

［信仰コラム］　柔 和 な 人

＂柔和な人たちは，さいわいである，彼らは地を受けつぐであろう。＂（マタイによる福音書5:5）

イエス様の山上宝訓の中で＂柔和な人たちは，さいわいである，彼らは地を受けつぐであろう。＂という御言葉を調べてみます。

第一、人間関係で柔和な人が幸いです。

柔和とは他人との関係で柔らかくて寛大で自制力のある性質を言います。柔和な人は他人が自分と性格が異なることを認定して相手の側に完全を求めず、不足と惰弱を受け入れます。性格が過激で頑なな人は社会で孤独です。人が頑なに行うとストレスがたまり、よく長時間緊張状態におかれるので副腎と甲状腺が正常以上の多量のホルモンを頻繁に分泌するようになり肉体の健康に大きな問題が発生します。柔和な性質を持つとこのような問題が発生しません。不法と不義に対して感じる怒りの感情は公義と真実という神様の属性に合うことなので神様は聖なる怒りは禁じられません。しかし、普通の人間関係では心が頑なにならないようにして柔和な心を維持するよう励まなければなりません。家庭生活、社会生活で柔和な者が微弱にあるいは無力に見えかねますが、実状は自制力が強くて知恵のある人です。柔和な心と態度で生きていく人はこの世で神様が与えられた福を享受して平安を楽しみます。

第二、神様との関係で柔和な人が幸いです。

神様との関係で柔和な人とは神様の治めに自分を完全に任して従う人を言います。民数記 12 章 3 節に見ると＂モ―セはその人となり柔和なこと，地上のすべての人にまさっていた＂と神様が言われました。モ―セの柔和な姿が現れた最も劇的な事件はイスラエル子孫がエジプトから解放されてカナン地に向いて行進している中に起きたことです。

イスラエル民が紅海の前に至った時、エジプトの王と臣下達は心が変わってイスラエルの民を再び捕まえるために追撃しました。進退両難の苦境に処されたイスラエルの民は神様とモ―セに向いて恨み、不評しました。するとモ―セは＂あなたがたは恐れてはならない。かたく立って，主がきょう，あなたがたのためになされる救を見なさい。きょう，あなたがたはエジプトびとを見るが，もはや永久に，二度と彼らを見ないであろう。主があなたがたのために戦われるから，あなたがたは默していなさい＂と叫びました。モ―セがイスラエル子孫を安頓させて神様にお祈りし始めると神様がモ―セに＂あなたはつえを上げ，手を海の上にさし伸べてそれを分けなさい＂と命じられました。モ―セがその通りに行うと神様が大きな東風で海を退かせ水が分けられて開かれた海の中の地が陸地となりました。イスラエルの子孫は海の中に開かれた道で通りました。しかし、追い付いていたエジプトの軍隊は水が合わせられて全て溺死してしまいました。モ―セは神様の指示通りに自分ができることをしました。これが柔和です。このように柔和な人に神様が賞を与えてくださいます。助けを与えて奇跡を施されます。

聖書が理解できなくても神様の御言葉なので無条件に信じる時、これが知的な柔和です。常に喜び、物事に感謝することが情的な柔和です。イエスキリストを知って信じることで救われたからどんな場合にも感謝して喜びながら生活することができます。だけではなく、神様を愛する者すなわち，ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さるので私達に問題が迫っても感謝しながら生活することができます。黙々と神様の思いを受け入れて神様の御言葉を実践することが意志的な柔和です。私達が神様に仕込まれて知的に、情的に、意志的に柔和になると神様が備えられた福を全て享受するようになります。

＂柔和な人たちは，さいわいである，彼らは地を受けつぐであろう。＂とイエス様が直接言われました。地を受けつぐという御言葉はこの世で生きるに必要な全てのことを安定的で豊かに享受するという意味です。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

幸せに暮らしたい方のために

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

幸せという単語は誰でも魅力的です。人は誰でも一生を幸せに暮らしたい願いを持っています。幸せについて国語辞典には「欲求が満たされて、十分な満足と喜びを感じる状態」と説明しました。ところが、一人一人が持つ欲求とはスケールで違うように、はかりで定める事ができるではありません。同じ人でも、状況に応じて欲求に変動がある場合があります。事実幸せとは幸せだと感じる心が大きな比重を占めることです。概して人は健康なときは、日常的な普通の日に幸せがあるのを知りません。そうするうちに健康が深く悪くなると日常的の平凡に幸せがあることを知るようになります。「涙が出るように生きろ」の感動的な文があります。英国に住んでいた二人の子供の母親である シャーロット キトゥルリー は大腸癌 4 期と診断後 22 ヶ月ぶりにこの世を去りました。享年 36 歳です。以下は、ブログに彼女が残した最後の文の内容です。

生きたい日々がこんなに多いのに...私には許さないですね。私の子供たち背が高まる姿も見たい夫に悪い妻もされて老いてみたい、そのための時間をしないてくれますね。生きてみるとそうですよ。毎朝子どもたちに起きてと、急ぐと、歯を磨きと音声上げる日々幸せだったのです。生きたくて癒しというあらゆる治療はみなをしました。基本的医学療法はもちろん、油に漬けチーズも食べて苦い汁も飲んでみました。ところがないんですよ。貴重な時間を無駄にしたと考えが入りました。

葬儀の問題を事前に処理しておいたので毎朝起きる子供を抱きしめてくれて、キスしてくれるというのが改めてとても感謝して感じられました。しばらくして、私は彼のそばで目を覚ます喜びを失うことになるだろう、彼は思わずにコーヒー二つを取り出してひとつ杯だけあってもいいという事実に悲しいでしょう。娘の髪を三つ編み必要が、息子が失われたレゴのどの部分がどこに転がって入っているかは自分だけ知るそれは誰が探してくれるでしょうか。

6 ヶ月時限付き判定を受けて 22 ヶ月も生きました。その 1 年をボーナスとして得たおかげで、小学校入学初日の学校に連れて行ってくれる喜びを抱いて行くことができるようになりました。息子の最初の揺れ歯を抜け、その記念で自転車を買って行った時は、本当に幸せでした。ボーナス 1 年のおかげで、30 代半ばではなく、30 代後半まで生きて行きますね。中年の腹部の肥満であり増える腹の囲、それ一度持ってみたらと思います。白くなる髪です？それ一度抜いてみたらよいと思います。それほど住んでいたという話じゃないか。私は一度老いてみたいです。是非生活を楽しみながら生きるのよ。両手で生活を必ず付けて下さい。皆さんがうらやましいです。

この文句は、私たちが無心に越えて経験することがどれほど驚くべき貴重な幸せの素材なのかを実現してくれます。客観的に実在する事実と符合した幸福の定義を調べるには、聖書の中で見つけなければなりません。神だけが人生の幸せについて正確に言われるからです。幸せに生きたい人生に与えられる聖書メッセージの核心をまとめてみましょう。

第一は、神の子として新しく生まれなければなりません。

永遠の幸福は天国の市民のみ保証されます。天国の市民になるために、必ずこの世の中で生きる間、神の子として新しく生まれなければなりません。天国は神の子供だけが入るようになるからです。神の子として生まれる手順は、神が定められたので、複雑ではありません。

まず、自分が罪人であり、滅亡するのを知なければなりません。次は、イエス・キリストの贖いを信じ、イエス・キリストを自分の主で受け入れなければなりません。そうすれば、罪の赦しを受けて義とされるともに、神の子として新しく生まれるようになります。 **「しかし，彼を 受けいれた 者，すなわち，その 名を 信じた 人々は，彼は 神の 子となる 力を 与えたのである．それらの 人は，血すじによらず，肉の 欲によらず，また，人の 欲にもよらず，ただ 神によって 生れたのである」（ヨハネによる福音書 1：12,13）**しました。自分が果たして神の子として新しく生まれたのか知ることができる判断の尺度があります。

第一に、神の子として生まれた人は、神を礼拝することと、神の言葉を読んで聞くことが楽しいです。

第二に、神の子として生まれた人は、人生の意味と目的が新しくなります。神を愛し、仕えることに人生の意味と目的になります。

第三に、神の子として生まれた人は、宇宙観、歴史観、価値観、死生観が変化します。宇宙万物は創造主の神が言葉で造られたということに疑いの余地はなくなります。神が歴史を主管し摂理おられるのを信じるようになります。何をするにも、神の栄光のためで、主を喜ばれるのが最高の価値を置きます。死とは外なる人と内なる人の分離過程であり、内なる人はすぐに魂は天使の導きを受けて、天国に入るということを確信しています。

第二は、神の子供のための神の約束が何なのかを学ばなければなりません。

神は神の子どもになった私たちの幸せのために祝福の約束を数えるのができなくて多くいただきました。神の子どもになった私たちは、一生の間に、神の約束を探してみます。神様がくださった祝福の約束の中で、その種類をいくつかのポインタを見てみましょう。

第一に、神が共にして助けてくださるという約束があります。神様の子どもは人生の道を一人で歩きません。どこへ行っても、神様が一緒にしてくれます。神は遍在した属性を持つと同時にどこかもおられることができるからです。

第二に、神を愛し、その御旨の行う者はすべてのものが合わせて益となる約束があります。ヨセフはこのような神を信じていたので、いろいろなすべての苦難を受けても、心に余裕を失うことなく耐え、むしろ期待感を持って待っていました。

使徒ペテロは、**「そのことを 思って，今しばらくのあいだは，さまざまな 試錬で 惱まねばならないかも 知れないが，あなたがたは 大いに 喜んでいる．こうして，あなたがたの 信仰はためされて，火で 精錬されても 朽ちる 外はない 金よりもはるかに 尊いことが 明らかにされ，イエス・キリスト の 現れるとき，さんびと 榮光とほまれとに 変えるであろう」（ ペテロの第一の手紙 1：6,7）**しました。

第三に、天国と復活の約束があります。神の子どもたちは、主を信じる家族や交友が先にこの世を離れ去る時に、悲しみを速やかに克服します。栄えある天国でまた会う日が来るのを信じているからです。

第三には、神の子どもになったものと、神の祝福の言約を受けたことによる幸せを楽しんで生きています。

神の子どもになった私たちは、神がすでに与えられた幸せを楽しんで生きています。使徒パウロは、エペソ教会に手紙で記録するのを**「どうか，わたしたちの 主 イエス・キリスト の 神，榮光の 父が，知惠と 啓示との 靈をあなたがたに 賜わって 神を 認めさせ，あなたがたの 心の 目を 明らかにして 下さるように，そして，あなたがたが 神に 召されていだいている 望みがどんなものであるか，聖徒たちがつぐべき 神の 國がいかに 榮光に富んだものであるか，また，神の 力强い活動によって 働く力が，わたしたち 信じる者にとっていかに 絶大なものであるかを，あなたがたが 知るに 至るように，と 祈っている」（エペソ人への手紙 1：17~19）**しました。この言葉は、単に知的で知るのではなく、その実際を知るより喜びと感謝と幸福感が満たされるのを意味します

イエスは、私たちを神の子となるために、十字架につけられ死なれました。それにより、私たちは罪の赦しを受けて新しい命を得て、神の子供になりました。確かに高貴な、貴重な存在となったのです。私たちは、その事実を絶対に忘れないという情報を幸福感を持って生きるのが示すべきです。神の子は、神が与えられた契約の価値を知って、これを非常に大切に考えるべきです。契約によって幸せな気持ちで生きることが契約を与えられた神への正しい態度です。神が与えられた言約の意味とその価値を十分に知っているときに幸福感を持って聖書を広げるでしょう。聖書を開けて約束された御言葉を読んで幸福感に起因して涙が本を濡れることになります。

申命記 33 章 29 節に記録されたのを**「イスラエル よ，あなたはしあわせである．だれがあなたのように，主に 救われた 民があるであろうか．主はあなたを 助ける 盾，あなたの 威光のつるぎ，あなたの 敵はあなたにへつらい 服し，あなたは 彼らの 高き 所を 踏み進むであろう」**しました。ところが、イスラエルの民は、彼らが神の選ばれ、救いを得た民であるという事実に起因する幸福感が不足しています。そして、神は彼らに与えられた律法と言約による幸福感がありませんでした。そうしたので恨んで不満でした。それだけでなく、神と偶像を兼ね仕えており、さらに神にそむいて、偶像崇拝に没頭しました。確かに幸せ者であるにもかかわらず、幸せの不感症がほとんど治癒することができない状態になりました。だから、彼らは不幸になるしかありませんでした。

キリスト・イエスのゆえに、神の子どもになって祝福な言約を受けた私たちは、本当の幸せの者です。したがって、幸せ者らしく生きるように私たちに幸せを与えられる神を尊んで栄光と喜ばれる者になるのを願います。